

リモートワークに役立つ ICモジュールやソフトウェアのご紹介



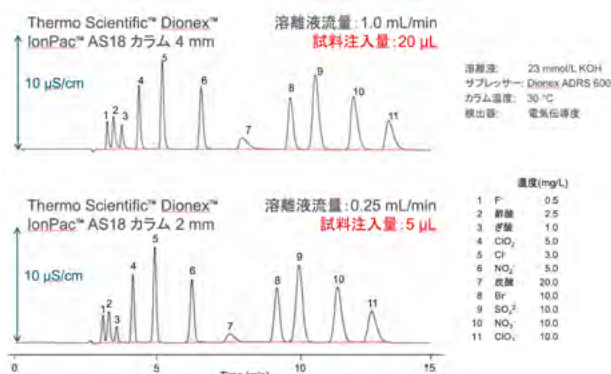
Thermo Scientific™ Dionex™ イオンクロマトグラフィーシステムには、分析に関するさまざまなプロセスを自動化し、ラボワークのリモート化を支援するツールが多数あります。リモートワークに役立つICモジュールやソフトウェアの機能を一挙にご紹介します。

溶離液消費量を低減

マイクロボアカラム (内径2 mm)

- スタンダードボアカラム (内径 4 mm) の 4 分の 1 の溶離液流量と試料注入量で同様のクロマトグラムが取得可能
- ランニングコストも低減 (超純水、試薬、排液処理など)

	スタンダードボア	マイクロボア
カラム内径 (mm)	4	2
流量 (mL/min)	1.0	0.25
試料注入量 (μL) *同感度目安	20	5
溶離液消費/排液量 (L/5日)	7.2	1.8



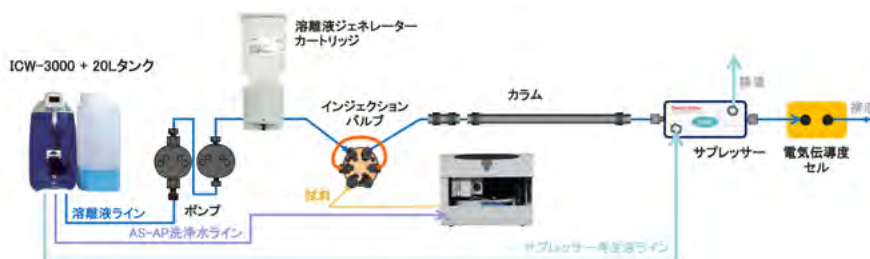
溶離液調製作業の効率化、手間を削減

溶離液ジェネレーター

- 超純水を準備するだけで溶離液を IC システム内で自動生成、毎回の溶離液調製作業が一切不要!
- 超純水製造装置 ICW-3000 と組み合わせれば、長期間の連続分析が可能
- グラジエントによる分離の最適化
- Thermo Scientific™ Dionex™ Integriion™ 炭酸系システムからのアップグレードも可能

超純水製造装置 ICW-3000

- 溶離液用とサブレッサー再生液用の超純水をインラインで供給
- オートサンプラーの洗浄水も供給可能 (オプション)
- 付属のタンクに高純水 (Elix 水、蒸留水など) を入れるだけ
- サブレッサー再生液の On/Off もソフトウェアで制御 (オプション)
- リモートワークでも安心な大容量 20 L タンクも選択可 (オプション)

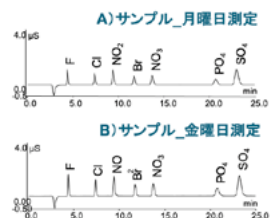


標準液やサンプル調製の自動化

Thermo Scientific™ Dionex™ AS-APオートサンプラー

- 標準原液またはサンプル原液とバイアルを準備するだけで、指定の倍率に自動で希釈して測定
- 検量線の自動作成が可能
- サンプルが検量線範囲を超過した場合、自動計算した最適希釈倍率で希釈して、自動で再分析 (SST/IRC 機能)

AS-AP希釈機能による検量線の自動作成と日間再現性



	検量線決定係数		測定値			
	月	金	月	金	再現性	
F	0.9999	0.9998	0.7647	0.7772	1.1%	
Cl	0.9994	0.9989	1.1046	1.1272	1.4%	
NO ₂	0.9999	0.9998	2.7821	2.716	1.7%	
Br	0.9998	0.9997	2.7458	2.6776	1.8%	
NO ₃	0.9997	0.9996	2.8482	2.7919	1.4%	
PO ₄	1.000	0.9999	5.2961	5.3820	1.1%	
SO ₄	0.9998	0.9998	5.5159	5.3988	1.5%	

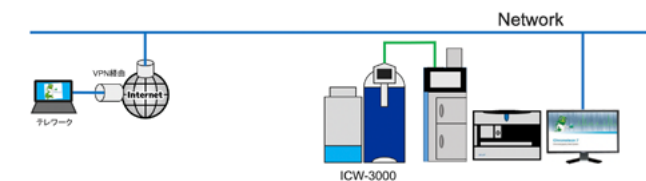
日間変動はほとんどなく、安定した連続分析ができます

ラボワークのリモート化を可能にするソフトウェア

Thermo Scientific™ Chromeleon™ クロマトグラフィーデータシステム (CDS)

リモートクライアントライセンス

- 自宅から分析したデータの解析、レポートを可能にする追加ライセンス
- 中断時やシーケンス終了時にメールでお知らせ



研究用にも使用できます。診断用には使用いただけません。
 © 2021 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved.
 All trademarks are the property of Thermo Fisher Scientific and its subsidiaries unless otherwise specified.
 実際の価格は、弊社販売代理店までお問い合わせください。
 価格、製品の仕様、外観、記載内容は予告なしに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。
 標準販売条件はこちらをご覧ください。thermofisher.com/jp-tc IC255_A21060B

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

分析機器に関するお問い合わせはこちら

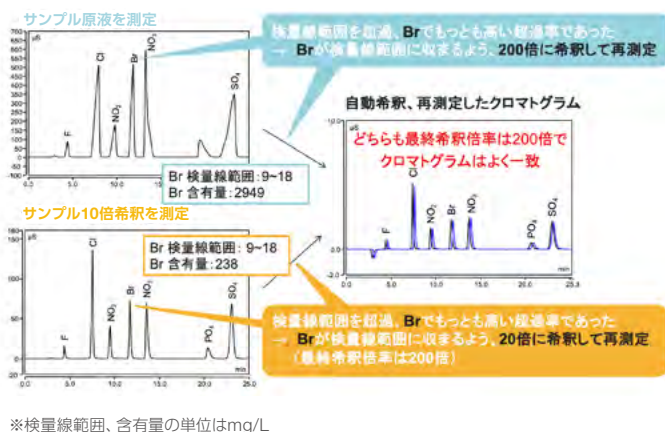
TEL: 0120-753-670 FAX: 0120-753-671
 Analyze.jp@thermofisher.com

facebook.com/ThermoFisherJapan @ThermoFisherJP

thermofisher.com

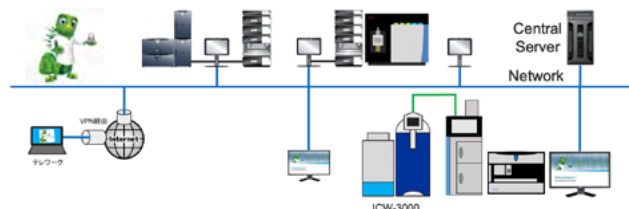
SST/IRC機能による自動再希釈測定

- SST (システム適合性試験) : 特定の測定について、条件を満たしているかどうか合格/不合格を判定する
- IRC (インテリジェント実行制御) : SSTの合格/不合格により設定した操作を実行



エンタープライズ対応

- エンタープライズ対応版は、テレワーク場所から装置の制御 (モニター、分析の開始・中断など) が可能
- 自宅から分析したデータの解析、レポートが可能
- 中断時やシーケンス終了時にメールでお知らせ
- 取り込んだデータは、すべてサーバーコンピューターで一元管理



ダイオテック東京株式会社

代理店

DIO

東京都台東区東上野 6-2-1
 TEL 03 - 3842 - 4882
 https://www.diotec.co.jp
 Mail: info@diotec.co.jp

ThermoFisher
 SCIENTIFIC